

# ご挨拶 2023

荻原 貢 荻原市長



新年明けましておめでとう  
ございます。

市民の皆様には、お健やかに  
新春をお迎えのことと心よ  
りお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新  
型コロナウイルス感染症第6  
波、第7波、さらには第8波  
の到来による流行の長期化に  
より、市内においても感染者  
の発生が続くなど大変厳しい  
状況が続く中、市民皆様のご  
協力のもと、基本的な感染防  
止行動の徹底と、オミクロン  
株対応ワクチン接種事業の実  
施を安全かつ円滑に進めると  
ともに、ロシア軍によるウク  
ライナ侵攻に端を発した原油  
価格・物価高騰に直面する子  
育て世帯や高齢者世帯等に對  
する生活給付金支給のほか、  
厳しい経営状況下にある事業  
者等への緊急経営支援策等を  
講じるなど、感染予防対策と  
社会経済活動の両立に向けた  
取り組みを進めてまいりまし  
た。

また、少子高齢化や人口減  
少対策として、高校生までを  
対象とした医療費の無料化、  
ふるさと就職奨励金事業や持

ち家取得奨励金の拡充に加  
え、本市への移住者を対象と  
する賃貸住宅家賃助成事業の  
新設など、将来にわたり若者  
や子育て世帯はもとより多く  
の方々から選ばれるまちづく  
りに注力してきたところであ  
ります。

こうした中、北海道電力の  
奈井江・砂川両石炭火力発電  
所が令和8年度末をもって廃  
止の決定がされたことによ  
り、地域の石炭から電力を生  
み出す地産地消の産業や露頭  
炭採掘技術が消失するばかり  
でなく、地域経済、雇用への  
影響など大きな課題が生じた  
ことや、国設荻別スキー場の  
指定管理者・サンフレイク社  
が資金繰り上から7月末を  
持つて撤退することとなり、  
事業の継続を期待していただ  
けに、残念な事態となりまし  
た。

その一方で、3年振りに女  
子バレーボール実業団チー  
ム・JTマーヴェラスの荻別  
合宿の実施や、国内最高品種  
の好適酒米「山田錦」を野花  
南町の有限会社加藤農場様が  
6年の長きにわたり試行錯誤

を繰り返される中で栽培し、  
道内初となる醸造酒の完成に  
加え、荻別温泉おふるカフェ  
星遊館に隣接して、通年型の  
グランピング施設「荻別ス  
ターグランピング」が開業し、  
健民センターエリアにまた新  
たな魅力ある観光スポットが  
誕生したことで、より一層の  
賑わいを見せており、観光資  
源の充実と集客力の向上に  
よって、経済波及の効果が期  
待される所です。

加えて、青少年健全育成や、  
地域社会の健全な発展と住民  
福祉の向上を目的とした宝く  
じスポーツフェア「ドリム・  
ベースボール」を9月に2年  
越しでの開催が実現し、道内  
各地から多くの野球ファンの  
皆様にお越しいただき、盛況  
のうちに無事に終えることが  
でき、また、基幹産業の農業  
においては、天候にも恵まれ、  
稲作の作況指数は本市の属す  
る北空知と北海道が同じ  
「106」の「良」となり、  
一部胴割れ米の発生はありま  
したものの、かつてない良食  
味米の生産量となり、畑作物  
についても、収量、品質とも

概ね良好であったことから喜  
ばしい出来秋の年でもありま  
した。

さて、迎えました本年は、  
荻別130周年・市政施行70  
周年の節目の年となりますこ  
とから、これを記念して、式  
典やいくつかの記念事業の実  
施に向け準備を進めていると  
ころであります。

未だ新型コロナウイルスの  
感染収束が見通せない中では  
ありますが、感染対策に意を  
持ちつつ、コロナ禍で閉塞す  
る社会経済活動が活発化し、  
また、「縮充と連携」をキー  
ワードに、市民の福祉増進と  
地場産業等の振興、財政の健  
全化を図り、市政のさらなる  
発展を期する年となるよう、  
官民連携・オール荻別で、ま  
ちづくりの推進に努めてまい  
ります。

結びに、今年一年が皆様に  
とりまして、ご健康で希望に  
あふれる年となりますよう、  
心からご祈念申し上げます。  
年頭  
のご挨拶といたします。

# 新年の



## 芦別市議会議長 田森 良隆

新年明けましておめでとう  
ございます。

市民の皆様におかれまして  
は、お健やかに新年をお迎え  
のことと、心よりお慶び申し  
上げます。

昨年を振り返りますと、一  
昨年に続き新型コロナウイルスが  
猛威を振るい、依然として  
私たちの生活に大きな影響  
を与え、収束の見通しが立た  
ない状況にあり、加えてロシ  
アのウクライナ軍事侵攻の影  
響により世界経済の不透明感  
が強まり、また原油価格の高  
騰、円安による物価の高騰に  
より日本経済は重大な影響を  
受け、私たちの生活に必要と  
される物が次々と値上がり  
し、市民生活を苦しめてきま  
した。

また、市内では、飲食業を  
始め多くの産業が新型コロナ  
ウイルスの影響や物価高騰に  
より厳しい経営状況にありま  
す。

このような中、私ども市議  
会では、荻原市長から提案が  
有りました緊急経済対策等に  
係る議案の審議につきまして  
は、皆様の安全・安心な生活  
を守るため、地元企業・事業

者の皆様の経営安定のため  
スピード感を持って対応して  
まいりました。

市議会は、時代の変化に  
沿った改革の意識を持ち、こ  
れまで議会改革に取り組んで  
参りましたが、昨年1月から  
議員定数の見直しについて議  
員全員で協議し9月定例会に  
おいて、議員定数を12名から  
1名削減し次期市議会議員選  
挙から11名とすることを可決  
したところであります。

明けた本年は、コロナ禍に  
よる地域経済の疲弊や電気  
ガス、灯油などのエネルギー・  
食料品等の物価高騰に伴う市  
民生活や経済活動への影響に  
対する国の総合経済対策事業  
が迅速に進められ、早急に効  
果が表れることを期待するこ  
ろであります。

本市においては、人口減少  
の抑制、子育て支援、総合庁  
舎の建て替え、公共施設の長  
寿命化、行政サービスのデジ  
タル化など様々な課題への対  
応が求められており、このよ  
うな状況を克服し、市民の皆  
様の安全・安心を守るととも  
に、本市の活力を維持・継続  
させていくためには、市政に

おいて二元代表制の一翼を担  
い、本市の将来に大きな責任  
を有する私ども市議会の果た  
す役割もこれまで以上に重要  
となつてまいります。

4月には市議会議員選挙が  
実施されますことから、現議  
員の任期は残すところわずか  
であります。5月からは11人  
による新しい議会がスタート  
しますが、私ども市議会は新  
しい時代に向けて、議会のデ  
ジタル化などの改革に取り組  
み、議会のあるべき姿を模索  
し、引き続き議会改革を推進  
するとともに、市民皆様の負  
託に応えるべく議員としての  
責務を深く自覚し、より一層  
の自己研さんに努め、皆様の  
生活を守るため山積する重要  
課題の解決に向けて積極的に  
活動を展開してまいります  
ありますので、市民皆様の市  
議会への変わらぬご理解とご  
支援をお願いいたします。

結びに、今年一年が、皆様  
にとりまして、ご健勝ですば  
らしい年になりますよう心か  
らご祈念申し上げます、新  
年のごあいさつといたしま  
す。

### 教育委員会

教育長 福島 修史

### 市立芦別病院

事業管理者

羽根田 俊

### 監査委員

岩花 永喜

石川 洋一

### 農業委員会

会長 北野 俊之

### 公平委員会

委員長 荒木 英理

### 固定資産評価審査委員会

委員長 大西 俊夫

### 芦別市消防団

団長 高砂 裕司

### 芦別市議会

副議長 小川 政憲

議員 林 伸樹

樋坂 直紀

新村 充

松尾 達矢

石川 洋一

北村 真

大鎌 光純

松井 邦男

若松 市政